

令和4年度～令和8年度  
(2022年度～2026年度)

# 真岡市

## 地域福祉計画・地域福祉活動計画 (第3期)

思いやりと安心に満ちた  
支え合いのまち もおか



令和4年3月

真岡市・真岡市社会福祉協議会

## 「真岡市地域福祉計画(第3期)」策定にあたって

本市では、「思いやりと安心に満ちた みんな元気なまちづくり」を基本理念に、平成24年3月に、「真岡市地域福祉計画(第1期)」を策定し、その後、平成29年3月に改訂して、市民一人一人が住み慣れた地域で、安心して暮らしていくことができるよう、地域福祉の推進を図ってまいりました。

しかしながら、少子高齢化や核家族化の急速な進行、ライフスタイルや価値観の多様化などにより、人と人のつながりの希薄化や扶助機能の低下など、地域における支え合いの基盤が弱体化傾向にあります。

また、高齢者、障がい者、子育て家庭、生活困窮世帯など、分野を超えての様々な問題が複雑化・複合化しており、対応が困難なケースも増加傾向にあります。

さらに、新型コロナウイルス感染症拡大により、新しい生活様式に対応した地域福祉のあり方や、自然災害が多発する中での災害対応など、地域のつながりの強化や支え合いの仕組みづくりについても重要性が増しております。

このような社会情勢の中、現在の計画期間が終了するにあたり、健康・福祉分野の上位計画として「真岡市地域福祉計画(第3期)」を策定いたしました。

本計画では、基本理念を「思いやりと安心に満ちた 支え合いのまち もおか」とし、福祉分野及びそれに関連する各計画等と一体的な連携を図るとともに、“地域共生社会の実現”と“地域福祉の推進”に取り組んでまいります。

今後も、誰もが住み慣れた地域において、生きがいを持ち、お互いの存在を認め合い、思いやりの心で支え合うことで、その人らしい生活を安心して送ることができるような社会の実現に努めてまいりますので、市民、地域並びに関係団体の皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、市民アンケート調査等でご協力いただいた皆様や、貴重なご意見をいただいた真岡市地域福祉計画策定委員会委員の皆様をはじめとする各種団体の皆様に心から感謝申し上げます。

令和4年3月



真岡市長 石坂 真一

## 「真岡市地域福祉活動計画(第3期)」策定にあたって

今日、私たちが暮らす地域では、少子高齢化、高齢者のみの世帯の増加、ひきこもり等の社会的孤立、生活困窮や権利擁護への不安など、様々な福祉課題が生まれ深刻化しています。

また、毎年のように起こる災害、令和2年からの新型コロナウイルス感染症の流行は、社会的に弱い立場にある人の困難を一層拡大し、同時にこれまで福祉とは無縁と思われた層の生活を脅かすことになりました。

さらに、地域活動や福祉事業にも影響があり、人と人との交流を主体とした多くの取組は、休止を余儀なくされました。一方で、これらの体験は、何気ない交流や地域活動での出会いなど、日常的に行われていた人と人のつながりの大切さを改めて実感する機会になったように思います。

このような状況の中で、住民、教育・福祉関係者の協力により、真岡市地域福祉活動計画(第3期)を策定しました。本計画は、行政計画である真岡市地域福祉計画と一体的に策定し、「思いやりと安心に満ちた 支え合いのまち もおか」を基本理念とし、「共に助け合い、支え合うまち」、「充実した福祉サービスのあるまち」、「安全で安心して暮らし続けられるまち」の3つを基本目標としています。

本計画の推進は、国全体が目指している「地域共生社会」の実現につながるものであるため、住民の皆様や教育・福祉関係者、社会福祉協議会、行政がそれぞれ期待される役割を担い、協力し合いながら進めていきたいと思えます。

最後に、この計画策定にあたり実施したアンケート調査にご協力いただきました皆様をはじめ、貴重なご提案をいただきました真岡市地域福祉活動計画策定委員会委員の皆様にご心からお礼申し上げます。

令和4年3月

社会福祉法人 真岡市社会福祉協議会 会長 磯野 里子

